

温めれば何度でもやり直せる

世界中のカカオと凸凹のみんな

山あり谷あり、もがき続けて19年



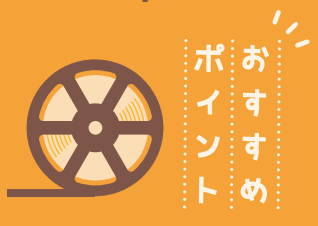
3月

生産者の顔が見え、カラフルなデザインが人気の「久遠チョコレート」。

そこに集う人々の、温かく、豊かな人間関係に、観るこちらにも幸せになります。

ゲストトークも開催して、映画の話を深掘りします！

「チョコレートな人々」102分/
 バリアフリー日本語字幕 / 2022年 / 日本
 © 東海テレビ放送



関連企画 3/24 (日) ①13:30 上映後、アフタートークと意見交換会
 ゲスト：鈴木祐司監督、中根芳樹カメラマン（可見市出身）
 聞き手：アラ映画祭実行委員

2024年 3月24日(日) ①13:30 ~ ・ 25日(月) ②10:00 ~ ③13:30 ~

可見市文化創造センター ala 映像シアター

料 金：全席指定 900 円 25才以下 450 円
 発売日：2024年 1月 20日 (土) 9:00 ※電話予約は翌 21日 (日) 9:00

主催 公益財団法人可見市文化芸術振興財団、アラ映画祭実行委員会





“人生はチョコレートの箱のようなもの。開けてみなくちゃわからない”
 これは、映画『フォレスト・ガンプ/一期一会』の名台詞。
 “こちらは、漫画『リーナツツ』のちよっと意地悪な女の子、ルーシーの言葉。
 “本当に必要なのは愛だけど、たまにはチョコも悪くない”
 この映画は、人生とチョコレートにまつわる、
 甘くて、苦くて、カラフルなドキュメンタリーです。

「温めれば、何度だって、やり直せる」夢のような力
 私たちのチョコレート工場へようこそ!

愛知県豊橋市の街角にある「久遠チョコレート」。世界各地のカカオと、生産者の顔が見えるこだわりのフレーバー。品のよい甘さと彩り豊かなデザインで、たちまち多くのファンができました。その人気は日本中に広がり、いまではショップやラボなど全国に52の拠点をもち、華やかなデパートのイベントの常連になっています。「久遠チョコレート」は、ほかのブランドとは一味違っています。代表の夏目浩次さんたちスタッフは、かれらが作るチョコレートのように、考え方がユニークでカラフル。心や体に障がいがある人、シングルペアレントや不登校経験者、セクシュアルマイノリティなど多様な人たちが働きやすく、しっかり稼くことができる職場づくりを続けてきました。

はじまりは2003年、26歳の夏目さんが3人のスタッフとはじめた小さなパン屋さん。その後、いくつもの事業を展開してきた夏目さんですが、トップショコラティエの野口和男さんとの出会いが大きな転機になります。「チョコレートは失敗しても温めれば、作り直すことができる」。しかもチョコレートはアイデア次第で付加価値が高まる魔法の食材。多様な人々を受け入れる夢の扉が見えました。こうして、新しく優しいチョコレートブランドの凸凹な物語がはじまりました。

『人生フルーツ』の
 東海テレビドキュメンタリー劇場最新作
 2021年日本民間放送連盟賞テレビ部門
 グランプリ受賞作がついに映画化!!

福祉と経済、生きがいと生産性、さまざまな人と共に働くよこびと、その難しさ……理想を追い求めるチョコレートブランドの山あり谷あり、きれいなだけじゃない19年を描く、東海テレビドキュメンタリー劇場第14弾。どうぞご期待ください。



www.tokaidoc.com/choco
 @tokaidocmovie
 fb.com/tokaidoc.movie

関連
 企画

3/24 (日) ①13:30 上映後、アフタートークと意見交換会

鈴木 祐司 (すずき・ゆうじ) 監督



1973年生まれ。愛知県刈谷市出身。98年東海テレビプロダクション入社、報道部遊軍記者から、岐阜支社担当、ニュースデスクなど。主な作品に「あきないの人々〜夏・花園商店街〜」(04)、「約束〜日本一のダムが奪うもの〜」(07・地方の時代映像祭グランプリ(取材))、「記録人・澤井余志郎」(10)、『青空どろぼう』(10)、「#職場の作り方」(22)。21年、テレビ版「チョコレートな人々」で日本民間放送連盟賞テレビ部門グランプリ受賞。

中根 芳樹 (なかね・よしき) カメラマン



1974年生まれ。岐阜県可児市出身。97年東海テレビプロダクション入社。ニュース、ドキュメンタリーのカメラマンとして活動。主な撮影作品に「とうちゃんはエジソン」(03・ギャラクシー大賞)、「福祉番長!」(04)、「森といのちの響き」(08)、「ホームレス理事長 退学球児再生計画」(13)、『神宮希林』(14)、『ヤクザと憲法』(15)、シリーズ「戦後70年 樹木希林 ドキュメンタリーの旅」(15)、『さよならテレビ』(19)、『チョコレートな人々』(22)。

▼ チケット取り扱い

可児市文化創造センター・インフォメーション
 Tel.0574-60-3050

9:00-19:00 火曜休館/祝日の場合は開館・翌平日休み



インターネット
 予約対象



Webページ

▼ お問い合わせ

可児市文化創造センター *ala*

〒509-0203 岐阜県可児市下恵土3433-139
 URL https://www.kpac.or.jp TEL.0574-60-3311
 9:00-22:30 火曜休館/祝日の場合は開館・翌平日休み